

会いたい人

2025.9.9

ずっと会いたかった人がいる。部活動の教え子である。もう何年も会っていない。他の教え子からの情報で、どこどこにいる、何をしているという話は聞いていた。

夏休み中に、幼稚園の見学に来てくれた親子がいた。玄関先で出迎えた。どうもお父さんの反応がおかしい。あれっ、何かしたか。ほどなくしてわかった。もう何年も会っていなかった教え子だった。小学校の先生をしているため、どこの学校に勤務しているかは把握できていた。だが、今まで会う機会がなかった。

突然、会いたかった人が目の前に現れた。部活動の教え子である。いつもまじめに一生懸命に練習をする生徒だった。努力をしているのに、勝たせてあげることができなかつた。そういう生徒のことは、ずっと心に残るものである。

会っていなかつた時間を埋めるように、いろいろな話をした。中学生のときに勝たせることができなかつたが、時を戻すことはできない。今となっては、教員としての彼の活躍を祈り、楽しみにするしかない。この前、彼の同級生と会って彼の話をしたばかりだった。とても偶然とは思えない。

他にも会いたい教え子がいた。その生徒も、人一倍、熱心に練習していた。最後の大会では、優勝候補の強いペアに向かっていった。強気で攻めていった。ベンチで試合を見ながら涙が浮かんできてしまった。試合は負けてしまったが、ナイスゲームだった。今でも、その試合が浮かんでくる。

夏休みに入り、開業医となった彼の同級生が幼稚園に来てくれた。彼の話もした。福島にいることはわかつた。そのうち会いたいと思っていた。すると、突然、目の前に彼が現れた。ナイスゲームで私を泣かせてくれた彼である。

あまりにも突然のことびっくりしたが、うれしかつた。握手をした。たまたまその場所に行つた。そこにいるのはわずか数分だった。その間に、ちょうど彼がやつてきた。とてもとても偶然とは思えない。すぐに連絡先を交換した。これで、いつでも連絡できる。そのうち、ゆっくりと話をしたい。

こうも立て続けに会いたい人に会えてしまうと、何かしらの意味があるのだろうと考えてしまう。少なくとも何かが動き出している。そう解釈した。

また別の教え子とも、テニスコートで何度か会うことができた。これも最近のことである。きっと教え子たちを大切にしなさいということなのだろう。教え子たちから学びなさいという天の声なのかもしれない。

他にもまだまだ会いたい人がいる。期待していると、ものごとは起こらない。ニュートラルなフラットな気分で素敵なお出会いを楽しみにしてみたい。